記者発表資料

平成２８年２月５日
仙台河川国道事務所

三陸沿岸道路「（仮称）気仙沼第2号トンネル」の第3回目の工事現場見学会を開催！

～各工事工程において小学生が現場見学します！～

（仮）気仙沼IC（気仙沼市松崎高谷）から（仮）唐桑南IC（気仙沼市唐桑町只越）までの延長約９ｋｍをつなぐ気仙沼道路の区間において、「（仮称）気仙沼第２号トンネル」の工事現場で気仙沼市唐桑町内の小学生（１５名程度）を対象に、見学会を開催いたします。

トンネルが出来上がるまでの進捗を掘削から覆工までの一連の作業状況（ＮＡＴＭ工法）を作業区分における掘削作業、支保工作業、コンクリート覆工作業の３回に分けて現場見学会を実施予定であり、今回は第３回目の開催となります。

復興道路である三陸沿岸道路の整備が着実に進んでいる状況の見学も含め、普段見ることのできない施工現場やコンクリートに関する体験学習も行います。

三陸沿岸道路は、延長３５９㎞の**自動車専用道路（鳴瀬奥松島ＩＣ以北は無料）**であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクト（復興道路）として位置づけられています。

また、三陸沿岸道路の開通により、平時においては地域の暮らしや産業を支えるとともに、災害時には緊急輸送道路としての信頼性向上が期待されます。

記

１．日　　時：　第１回　平成２７年１０月　３日（土）　１０：００～１１：３０
第２回　平成２７年１１月２８日（土）　１０：００～１１：３０
第３回　平成２８年　３月１３日（日）　１０：００～１１：３０
※９月２８日記者発表では、第３回開催日を２月６日とお知らせしておりましたが、工事工程上、３月１３日（日）へ変更いたします。
※第３回目の開催日については、工事の進捗状況により変更の可能性あり。

２．見学場所：　三陸沿岸道路(気仙沼道路)（仮称)気仙沼第2号トンネル　延長1,167m

３．集合場所：　気仙沼市唐桑町境地内１０：００集合・・・別紙（位置図）を参照

４．そ の 他：　取材される際は、１０：００までに集合場所にお越しください。
※現場入場する際に必要となるヘルメットは、こちらで用意いたします。

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、気仙沼記者クラブ＞

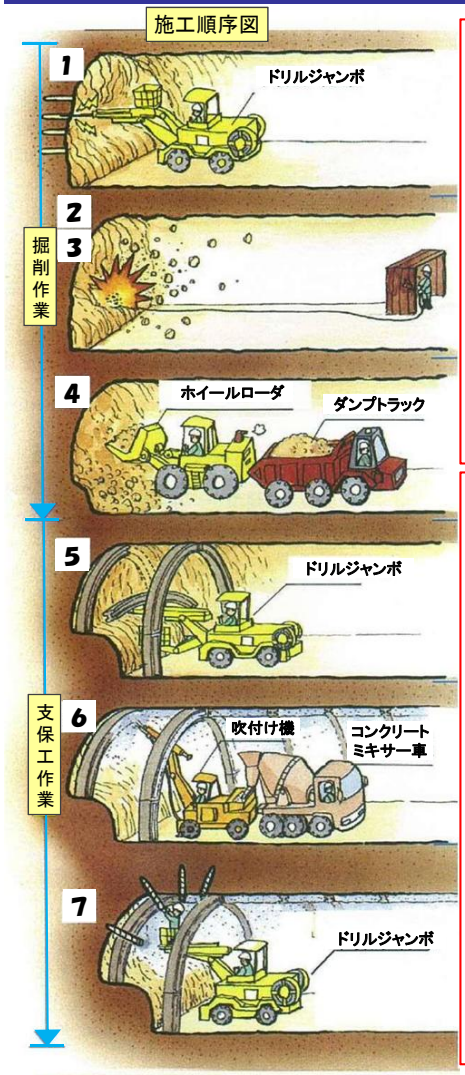
（ 問 い 合 わ せ 先 ）

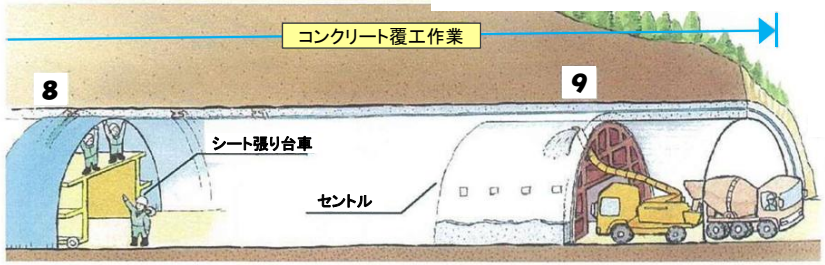
■見学会に関すること
気仙沼第2号トンネル工事　佐藤工業(株)　東北支店
気仙沼トンネル作業所（監理技術者）　衣笠（きぬがさ）　晃司（こうじ）
TEL：０２２６-２５-８４３１

■事業に関すること
国土交通省　東北地方整備局　仙台河川国道事務所
TEL：０２２-２４８-４１３１（代表）
副　所　長　田口（たぐち）　和弘（かずひろ）（内線205）
設 計 課 長　宍戸（ししど）　英雄（ひでお）（内線461）

【三陸沿岸道路HP】http://www.thr.mlit.go.jp/sendai/douro/fukkou/index.html

気仙沼第2号トンネルの施工方法





1 削孔

第1回開催内容（H27.10.3開催済）

爆薬などを入れるための穴を掘る作業です。

削岩機を３台搭載した「ドリルジャンボ」と呼ばれる機械で行います。

2 装薬

削孔内に爆薬を入れる作業です。

3 爆破

爆薬に点火し爆発させる作業です。点火は電気雷管を使って行います。

4 ズリ処理

爆破により砕かれた岩を切羽から運び出す作業です。

ホイルローダとダンプトラックなどで行います。

5 鋼製支保工

第2回開催内容（H27.11.28開催済）

掘削後にトンネルの壁が崩れるのを防ぐため、コンクリートを吹付けて固め（１次吹付け）、アーチ状に加工したH型鋼を必要に応じ設置します。

鋼製支保工はいくつかに分割されており、ボルトにより接合します。

6 コンクリート吹付け

１次吹付と鋼製支保工を設置したコンクリートの壁に厚さ１０～２５㎝程度のコンクリートを吹付ける作業（２次吹付け）です。

現場に設置されたコンクリート吹付けプラントで造ったコンクリートをミキサー車で運搬し、吹付け機で吹付けます。

7 ロックボルト

吹付けが完了したコンクリート面から、壁に向かって削孔します。

削孔した穴にモルタルを注入し、ロックボルトを挿入し定着させます。



















第3回開催内容（予定）

8 防水工

ビニール製の防水シートを張り、トンネル内への湧水を防止します。

9 コンクリート覆工

鋼製の半円筒形の特殊な型枠（セントル）を設置してコンクリートを打設します。

参考：第１回の開催状況

【三陸沿岸道路】トンネル工事の現場見学会を開催

概　要

- 唐桑公民館主催、国交省共催で気仙沼市唐桑町内の小学生と保護者を対象とした（仮称）気仙沼第２号トンネルにおける現場見学会を実施した。
- トンネルが出来上がるまでの一連の作業（掘削から覆工まで）を作業内容ごとに実際に体験しながら説明することにより、小学生には土木工事の魅力を感じてもらい、保護者には工事の内容と進捗を見ていただくことで、工事への理解を得ることを目的としている。
- 全３回を予定しており、今回はその第１回目でトンネル工事での発破体験や湧水の濁水処理実験を通してトンネル工事への理解を深めてもらった。
- 開催日時：平成 27 年 10 月 3 日（土）　10:00～11:30
- 参加人数：9 名（小学生 3 名、父兄 3 名、唐桑町公民館職員 3 名）

見学会の内容

- （仮称）気仙沼第２号トンネル工事現場（気仙沼市唐桑町境　地内）
  ① トンネル工事の概要説明　　②坑内見学
  ③ 発破体験　　④建設機械の説明・試乗体験
  ⑤ 濁水処理実験体験

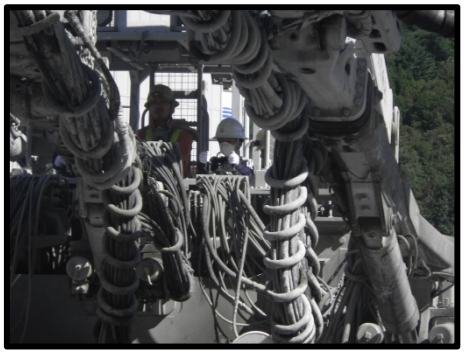
見学会の様子



▲概要説明



▲坑内見学



▲建設機械乗車体験



▲濁水処理実験を行う参加者



▲集合写真



▲記念品を確認する参加者

参加者インタビュー結果

- 「工事中のトンネルに入ったのは初めて。思っていたより内部が広く、機材も大きくてびっくりした。発破は振動が伝わってきて迫力満点だった。一日も早く完成し、通ってみたい。」

参考：第２回の開催状況

【三陸沿岸道路】トンネル工事の現場見学会を開催

概　要

- 唐桑公民館主催、国交省共催で気仙沼市唐桑町内の小学生と保護者を対象とした（仮称）気仙沼第２号トンネルにおける現場見学会を実施した。
- トンネルが出来上がるまでの一連の作業（掘削から覆工まで）を作業内容ごとに実際に体験しながら見学することにより、小学生には土木工事の魅力を、保護者には工事内容と進捗を見ていただき工事への理解を深めてもらうとともに、高速交通網の必要性を学び、ふるさとを理解し、地域を愛しむ心を育むことを目的としている。
- 全３回を予定しており、今回はその第２回目でトンネル工事における鋼製支保工の建込み作業とコンクリート吹付け作業を見てもらい、さらにはトンネルの防水シートへのメッセージ記入体験や掘削した岩石の強度試験を通してトンネル工事への理解を深めてもらった。
- 開催日時：平成 27 年 11 月 28 日（土）　10:00～11:30
- 参加人数：25 名（小学生 11 名、父兄 11 名、唐桑町公民館職員 3 名）

見学会の内容

- （仮称）気仙沼第２号トンネル工事現場（気仙沼市唐桑町境　地内）
  ① トンネル工事の概要説明
  ② 坑内見学
  ③ 防水シートの落書き体験
  ④ 岩石強度試験体験
  ⑤ 記念撮影・記念品贈呈

見学会の様子



▲概要説明



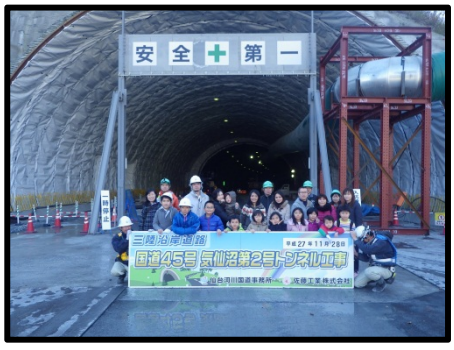
▲坑内見学



▲メッセージ記入体験



▲岩石強度試験を行う参加者



▲記念写真



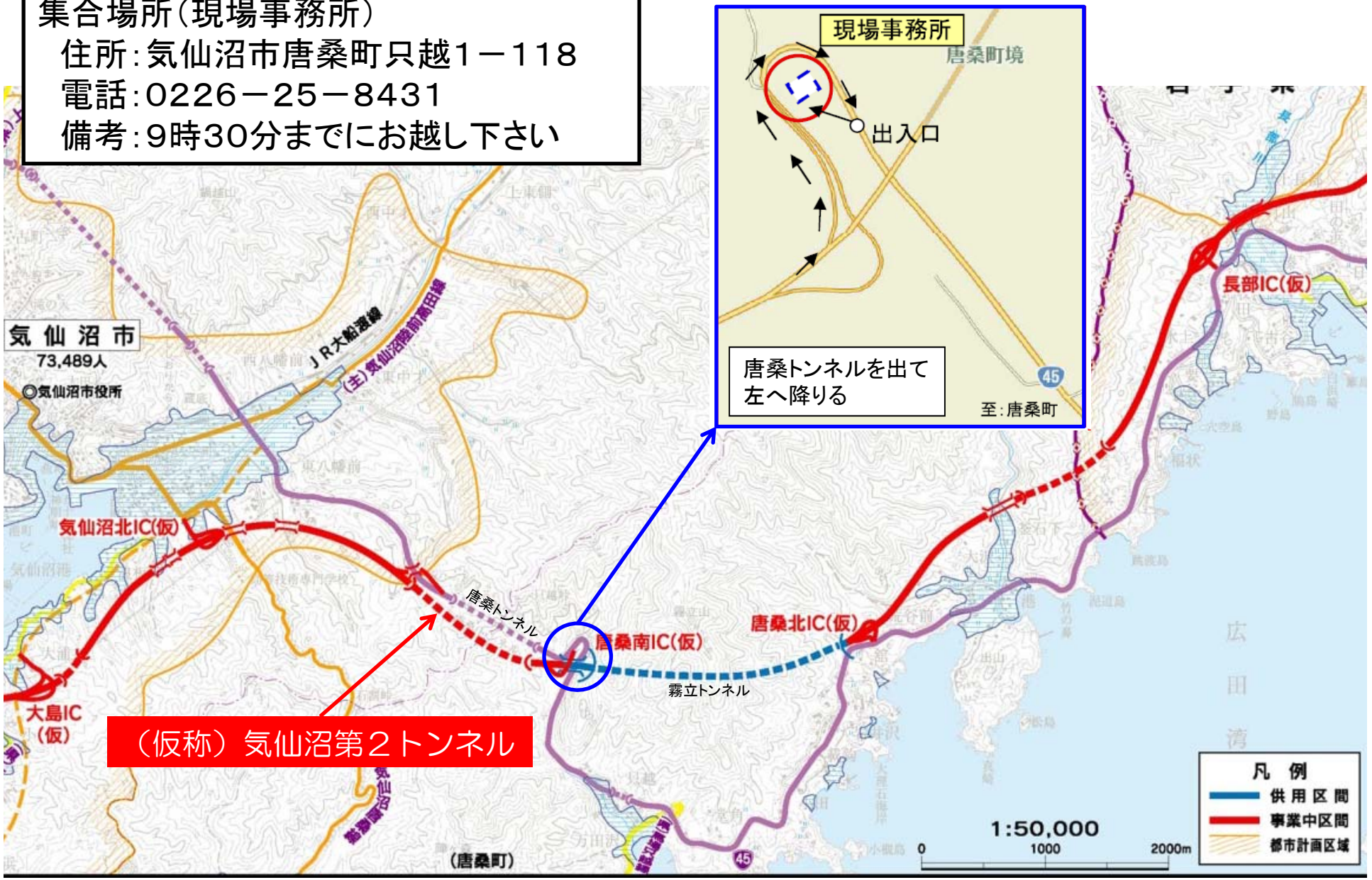
▲記念品を選別する参加者

参加者インタビュー結果

- 「トンネル断面が３車線から２車線に摺り付いていく状況が分かった。」
- 「将来、このトンネルを行き来するたびに思い出すはず。記念が残せてうれしい。」
- 「大きな穴が開いたところが見れて面白かった。」

（仮称）気仙沼第2号トンネル　案内図

集合場所（現場事務所）
住所：気仙沼市唐桑町只越１－１１８
電話：０２２６－２５－８４３１
備考：９時３０分までにお越し下さい



（仮称）気仙沼第２号トンネルの概要

◆トンネル概要
○延長 ： 1,167m
（標準部969.3m+拡幅部197.7m）
○断面 ： 約94m2（標準部）
○幅員 ： 12.00m（標準部）
（1.75−3.50−1.50−3.50−1.75）
13.25m（非常駐車帯）
（3.00−3.50−1.50−3.50−1.75）
○抗門形式 ： 面壁式

◆主な土質
○土質 ： 中生代　ジュラ紀　小々汐層
（砂岩、粘板岩、粘板岩互層）

◆主な特徴
○トンネル終点部に唐桑南ICオンランプの合流車線（1車線）が含まれ3車線となり拡幅断面となっている

▼終点側抗門部のイメージ



▼トンネル設備のイメージ

